

あなたが写っていたらご連絡ください。
写真を差し上げます。
秘書広報課 ☎22-8112

おかさんと一緒に絵付けに挑戦！



出来上がったお皿を手に記念撮影

感謝の思いを込めて

8月21日 敬老の日プレゼント作り

こどもの国で敬老の日を前にプレゼント作りが行われました。小学生以下の子どもたちが、おじいちゃん・おばあちゃんに向けて、お皿の絵付けに挑戦。参加した子どもたちは、素焼きのお皿に陶芸用の絵の具で、日ごろの感謝を込めたメッセージを書いたり、遠くに住んでいてなかなか会えない祖父母に向けて手形や似顔絵を書いたりと一生懸命プレゼント作りに励みました。

完成した作品

糸のこぎりの使い方を教わる子ども



間伐材を使った作品作り

8月20日 木育学校

身近な森林や森林資源を活用し、体験することにより林業の啓蒙・普及を図ることを目的とした「木育学校」が、葉原区の旧葉原小学校で行われました。この日参加したのは、児童とその保護者を含めて18人。同区の道端勇治氏の指導のもと、市内の間伐材を使った木工作品作りにチャレンジしました。子どもたちは初めて使う糸のこぎりに悪戦苦闘していましたが、何とか作品を完成させ、喜びの笑顔を浮かべていました。

夜空に打ち上げられる無数の花火



大迫力の水上花火

敦賀から元気を！

8月16日 とうろう流しと大花火大会

毎年恒例の「第62回とうろう流しと大花火大会」が松原海岸で行われました。今年は、「絆～敦賀から光を～」をテーマに敦賀から日本のあらゆる絆や元気を感じてもらおうと開催。日本海側最大級の花火大会を見ようと22万人の観客が訪れました。赤・青・黄の約6,000個のとうろうが流され、松原の海が幻想的な雰囲気の中、東北の花火職人が作った花火や浅井三姉妹をイメージした色の花火など13,000発が打ち上げられました。フィナーレでは、豪快な花火が次々と夜空を彩り、観客から大きな歓声と拍手が沸き起こりました。

セレモニーでくす玉割りが行われました



河瀬市長と中川さん夫妻記念撮影

祝 200 万人達成！

8月23日 リラ・ポート入浴 200 万人達成

敦賀きらめき温泉リラ・ポートの入浴客が200万人を達成しました。記念すべき200万人目のお客さんは、滋賀県長浜市西浅井町に住む中川重男さん。館内で行われたセレモニーでは、河瀬市長から記念品が贈られました。ご夫婦で訪れた中川さんは、「敦賀には近いので良く来るが、リラ・ポートに来たのは初めて。(200万人目には)びっくりした。この後、温泉を楽しみたい」と話しました。

懸命にオールを漕ぐ生徒たち



白熱！ いかだレース！

8月22日 西浦小中学校第19回いかだレース

夏休みを使って製作したいかだで水島を目指す「西浦小中学校第19回いかだレース」が行われました。今年は、中学生3チームと教職員チームの合計4チームに別れてレースがスタート。途中、波に流されるシーンもありましたが、4チームとも自分たちが作ったいかだで渡りきりました。1番早く水島へ到着したチームの古川徹さんは、「思ったように進まず疲れたが、みんなで協力したからこそ、優勝できたと思う。うれしい」と話しました。

地引網体験中！



福島の子供らが敦賀を満喫

8月16日～21日 サマーキャンプ in つるが

市内のNPO法人などが主体となり、東日本大震災で敦賀に避難されている子どもたちを支援している「とんとんキッズプロジェクト」が、市と連携して、福島県の子どもたちなど23人を招待し、「サマーキャンプ in つるが」を開催しました。参加した子どもたちは、花火大会や気比の松原での地引網体験・海水浴、黒河での川遊びなど、敦賀の歴史や自然を思う存分満喫し、たくさんの思い出をつくりました。

ホースで標的を狙って



素早く標的を狙って

8月7日 敦賀地区自衛消防隊操法大会

「第49回敦賀地区自衛消防隊操法大会」が、公設地方卸売市場の駐車場で行われました。各地区や事業所から86チームが参加。「小型動力ポンプの部」「消火栓の部」「屋内消火栓の部」が行われ、炎天下の中、「操法始め」の掛け声と同時に標的に向かって全力疾走し、動作のスピードと確実性を競いあいました。どのチームも日ごろの練習の成果を発揮しようと真剣な表情で取り組んでいました。